

輸出事業計画

※申請者名：布袋食糧販売株式会社 品目：ミックス粉

1. 輸出における現状と課題

【現状】

- ・ 海外での日本食ブームは依然根強く、現地での出店は顕著である。近隣諸国では日本国内での食ブームに追随するよう、そのスタイルを踏襲し展開する動きがある。欧米においても日本食が拡大しており、ニーズは拡大していくと考えている。
- ・ 日本産のミックス粉を使用することで容易に日本の味を再現できるため、現地ユーザーにとって研究・開発等の工程が省略でき、また、アレンジを加えることも容易で、利便性が高い。
- ・ 国内で取引のある既存取引先より、海外での展開について協力要請があり、原料となるミックス粉の製造・輸出を開始した。
- ・ 昨年、計画では各種展示会への出店を予定していたが、コロナ禍の影響で数件のみの出店となったが、規制の状況次第で積極的にPR活動をしていくこととしている。
- ・ 直近の輸出売上高は令和3年度130万円で対象国は2カ国にとどまっているが、今後、更なる拡大を見込んでいる。

【課題】

- ・ 製造機器が古いため、衛生面や生産性の面で作業員の負担が大きく、作業員の定着が良くない。
- ・ 弊社のミックス工場では、包材への充填行程において、自社設計の充填機を使用しているものの、篩機能(ストレイナー)の能力不足及び接合部からの粉の噴出など様々なトラブルを抱えており、生産のボトルネックとなっている。
 - 特に粉の噴出については、工場内の害虫の発生による異物混入リスクを高める他、作業員への負担も大きく、安定雇用の妨げとなっている。

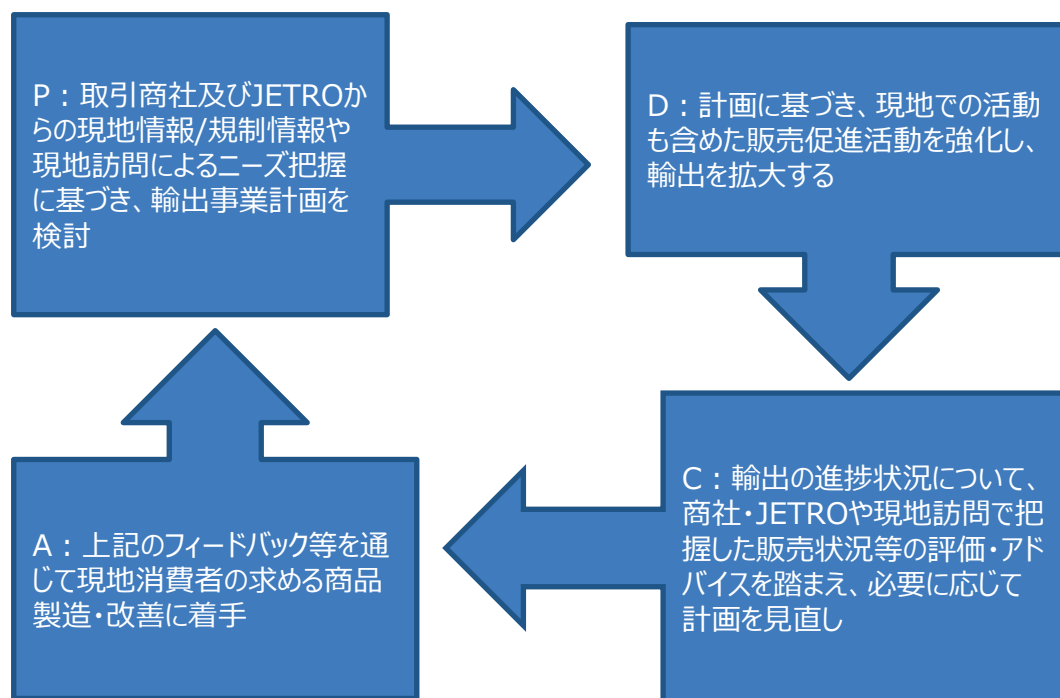
2. 輸出事業計画の取組内容

- ・ 2022年3月初旬に最新の粉体充填機（ツカサ工業(株)製の充填機「ディバイダースケールダンピ」）を導入した。これにより製造製品の歩留率を改善し、充填速度の向上により生産性を高め、製品のコストダウンによる価格競争力の強化を図る。また、粉の噴出の抑制等により、害虫等の異物混入リスクの低減による品質向上や工場内の衛生面向上を図ることで、製造工程における負担を軽減し、作業員の定着を実現する。
- ・ 現在のミックス工場の年間生産量約330 tを現在の工場の人員体制で残業および休日出勤なく、30%向上させ427 tまで引き上げる。
- ・ 2022年1月より、現在ミックス工場のチームリーダーを務めるチームリーダーを、ミックス粉の営業活動を主な専任として、受注量の増加を図るため、海外の当社製品のユーザーに向け製パン法などの技術指導を行う。また、ミックス工場の運営については、新たに経験のある正社員をチームリーダーとして採用する。

輸出事業計画

※申請者名：布袋食糧販売株式会社 品目：ミックス粉

3. 輸出事業計画の実証と見直しを行うためのPDCA実施体制



4. 輸出目標額

	【現状】 (2021年度)	【目標】 (2023年度)
輸出額 (円)	1,383,400	10,355,636
輸出量 (t)	8	60
主な輸出先	韓国・アメリカ	韓国・アメリカ

- 2023年度に現状の輸出額の約7倍である10,355,636円を目標額とする。
- 韓国とアメリカへの輸出に注力する。